

平成26年度予算編成について

平成25年10月 財政部

1. 基本的な考え方

- 合併後のまちづくりが最終段階を迎える中、下関の「元気」を増進させるため「地域力創造プロジェクト」など6つのプロジェクトを着実に推進する。
- 本市の財政状況は引き続き厳しく、財政健全化プロジェクトに定めた項目を始めとする新たな歳入確保や徹底した経費削減に努めるとともに、中長期的な本市の財政状況を的確に認識し、事業の選択と集中を進めた上で、真に実効性のある予算とする。

2. 予算編成のポイント

- (1) 要求基準（一般財源ベース）758億円
 - ・ 社会保障関係経費の増、地域経済や市民生活を取り巻く環境に配慮。
 - ・ 36億円の財源不足に対し、15億円の財政調整基金の取崩し、財政健全化プロジェクトにおける取組み15億円、地域の元気臨時交付金1億円の活用と5億円の歳出削減により対応。
- (2) 歳出削減（一般財源ベース）▲5億円
 - ・ 部局裁量経費 ▲1億円
（参考）経常経費▲1% 投資的経費▲5%
 - ・ その他経費 ▲4億円
- (3) 予算査定方式
 - ・ 限られた財源の最大限の活用を図るため、「部局枠配分方式」により事業の優先順位付けを事業担当部局が積極的に行い、事業の統廃合と新規事業の提案を促す。
- (4) 予算要求額（一般財源）の限度額設定（対前年度予算以内）
 - ・ 各部局からの予算要求に上限を設けることにより、各部局による事業の優先順位付けを促進。
- (5) 重点テーマ事業
 - ・ 平成26年度予算編成において重点的に推進すべき施策として以下のテーマを設定し、重点的に予算を配分する。
 - 「地域内分権の推進」「交流人口の拡大」「公共施設マネジメントの推進」
 - 「新下関市合併10周年記念事業」